立教大學新聞
発行所
豊島区池袋三丁目
© 立教大学新聞学会
振替東京70852
電話(983)0111(代)内線97
発行人　野口定男
毎月十五日発行

文房具は
芳文堂
立教通り
TEL (971) 0709

級委員会 新執行部決まる

委員長に及川君(経三)
副委員長は三人のみ

去る十二日、本年度の新らしい級委会の執行部が決った。学生運動の危機が伝えられている現在、学内にも学外にも、数多くの重大な問題をかかえている新執行部の動向が注目されている。新執行部のスタッフは、委員長に、前副委員長の及川忠男君(経三)、副委員長には藤村彰宏君(社三)、篠崎泰弘君(法三)、斉藤毅君(社三)の三名が決定したが、残る一名は人材の不足に、議事運営の不手際を手伝ついまだ決定していない。新執行部では来る二十五日までに級委員総会を開いて決定するとついている。この総会には大島前委員長の細部にわたる総括及び、及川新委員長の方針が提示される。

及川君

藤村君

斎藤君

篠崎君

今年度の新らしい執行部を決める「級委会第一回総会」が去る十二日午後三時から二六六番教室で開かれた。開会冒頭に大島前委員から昨年度の一般総括及び当面する諸問題の報告を行った。

前執行部の総括及び当面する諸問題に関する報告要旨。

総括「私達、前執行部は学生運動の大前提である『平和と民主々義の擁護』およびより良き学生々活の確立』を主眼に活動を展開して来た。具体的には、安保闘争を闘い、学内の教育条件、厚生条件などの学生の権利の擁護と拡張に関しては、学生諸負担金値上げ反対運動を闘って来たしかし、結果的には我々の要求が受け入れられなかった。原因は実際活動が弱かった事にある。我々が高く評価するのは安保闘争における、とくに五・二六の時点以降の教授と学生の連帯であった。

又学費値上げ反対闘争の中で大学側の大学に対する態度学問の追求の場よりも、一個の経営体としている態度―が明らかになった。この学校側の態度と厳しく闘わなければいけない。

級委員会を自治会に発展させるために規約改正小委員会を二月に発足させ組織改正を研究中である。

○当面の問題

一、現在の大学の教学状態を各学部委員会で正確に把握し、学生の権利の擁護と拡張を押し進める。

一、新入生の級委員選出に当り級委会に対する理解を深めるため呼びかける。

一、学生健保の設立に関しては専門部の調査がまとまったので結果を級討論に付して具体化して行く。

一、学生食堂の補助金が五〇万から百万に増加したので学生の要求を強く反映させねばならない。

一、図書館の閲覧時間の延長に関しては、図書館側は積極的な態度を取っているが学校側は残業による職員の割増金支払をしぶっている。

一、最近、文部省は学生自治会活動の基準を規定した。これは昨年の安保闘争で学生が果敢に闘った事に対するけんせいである。」

次に執行部の選挙を行った。

一、委員長選挙

前副委員長、及川忠男(経三)君が立候補。

信任　四十七票
不信任　一票

藤村彰宏(社三)君と篠崎泰弘(法三)君が立候補し、

信任　四十六票
不信任　一票

篠崎泰弘君は

信任　四十七票
不信任　一票

で選出された。

残る二名の副委員長の選出は斉藤立候補により斉藤君(社三)岩本君(法二)前川君(経三)の三人に対する信任投票を行った。

信任　四十七票
不信任　一票

岩本君

信任　十六票
不信任　三票

前川君

信任　二十票
不信任　二十八票

その結果、斉藤君の副委員長は決定したが残る一名は決らず、再推薦を行い押立君(法二)の一名を加え、岩本君、前川君、押立君の三君に対する再信任投票を行った。

岩本君

信任　十四票
不信任　三十票

前川君

信任　十四票
不信任　三十票

押立君

信任　十六票
不信任　二十八票

結果、三君とも過半数に達せず再び信任投票をしたが、それでも過半数に達せず、二十五日以前に級委総会を開き、残る一名の副委員長を選出することを満場一致で執行部の選挙を終えた。

「本日の総会の不手際を御詫びします。昨年の方針には若干反対もあったが、押し通してきたことは大きな成果であった。今後は一級委として、新執行部に協力して行きたい。」

一、及川新委員長挨拶。

「我々の活動方針は昨年の方針を継承し、さらに発展させて行きたい。諸君の協力を切望する。そして、級委会への建設的な批判を御願いする。」

五時四十五分散会。

新執行部の方針をめぐつて

【解説】昨年度、安保闘争において学生運動は空前の盛り上りを示した。沈滞気味といわれた本学でも多数の学生が立ち上った。しかし、安保以後、学生戦線は分裂し、本学にも再び沈滞現象が現れはじめた。学内問題、政治問題に多くの課題をかかえた困難な時期に級委員会の新執行部が生れたわけである。

新執行部の方針の外郭は次の通り。

❶旧執行部の活動方針に基本的には同じ姿勢を保ち、それを今後より発展させて行く。

❷基本的には全自連の方針に歩調を合わせて行く。

❸級委会を自治会にまで発展させていく。具体的な活動として去る二月に規約改正小委員会を結成し、検討を加えている。

❹当面する学内問題については早急に学生健康保険問題と図書館の問題とを解決していく。

❺平和と民主々義擁護の戦いについては、現在問題になっている新島に一般学生から代表を派遣したい。

❻一般にいわれている、執行部と一般学生大衆との遊離の問題は活発な級討論、級委員の組織化、情宣活動の徹底などにより是正して行き、今後の活動を一般学生と密着してやって行きたい。

❼現在の学生運動戦線の危機克服については、全面的に全自連の方針に沿って行く。

現在おおきく問題になっているのは具体的な個々の問題を解決して行くことより以前の問題、学生戦線の再統一の問題と、学生運動それ自体に関する一般学生の意識の問題である。本学内部に起っている執行部の独走、或は執行部と一般学生との遊離について、一、組織化の基調レジメを作成し、級討論を通して一般学生の意識を高めていく努力を怠ってはならない。

学内問題については、学生健康保険問題と生活清費務局組合問題とが新執行部にかせられている。健保問題については、綿密な基本調査が終わり、その結果をまとめて、近いうちに活動を展開するそうである。昨年から今年にかけての学費値上げ反対運動における失敗を再び繰返さないように、強力な一般学生のバック・アップの中で闘争を進めて行つてもらいたいそれにはさきに挙げた三点を徹底する必要があろう。

昨年の安保闘争以来、分裂と混乱をつづけている今日の学生運動は一面非常な危機的状況にあるともいわれ、"学生運動の再建"が叫ばれている。

それらの状況を前に新らたに出発する本学執行部も、学内個々のエネルギーをどのように組織し"学生運動の再建"に参加させるか、前途に大きな問題をかかえている。

学生運動の危機に際し積極的活動を

今年度 文化会予算決まる
総額は三二二五万円

昭和三十六年度文化会予算を決める第六回文化会キャプマネ会議は五月八日午後三時から開かれた。文化会57団体中48団体、他に友好会、同好会17団体約八〇名が出席した。小林委員長の一般報告に続いて行われた本年度予算の本部原案をめぐつて、活発な質疑応答の後、本部原案通りに可決した。今後若干の復活予算折衝が行われて、実質的な活動に入る。

一般報告は❶先般開催された行われた特別キャプマネ会議の決定事項については、早急に報告書を作製、今後の既定方針として取り上げてゆく。❷応援団の部室前の練習について、かねてより被害を受ける旨の申し立てが近くにある二千余部からなされていたが五月四日の三部会(文化会、体育会、級委員会の三部から成る)で禁止するとの決定がなされた。これに伴い、各部室前のキャッチボールなどは当然自粛が要求される。なお応援団の練習場については学生会で考慮中である。以上の二点について小林委員長の報告があつた。

続いて本年度予算に関する審議に入り、本部案作製の基準及び考慮点として陸に演劇関係の部へは、同志社との交歓会があるため公演の費用を一回分増額、合宿費用は独立採算とし、文教祭予算は除外する等の説明がなされた。この他一般的な基準点としては前年度の経費を参考にして各部とも大巾な増額はなく、音楽団体などの予算以外に収入のある部に対しては支出予定額を若干減された。原則的に、釣のエサ代とかお茶の菓子代のように個人に還元する様な物は削り、同系統の部との連関性、キャプマネ会議の出席率等も多少考慮された。

本年度の学生会予算は一二一九万八千円、その内体育会は66%の七三七万、級委員会は9%一〇一万五千円、文化会は25%三一五万五千円。各部予算額は別表参照。この予算にみられる特徴は各部とも昨年度より漸増しており、削減された部は柔道部の用華と日弊研究会の二部だけである。文化会予算中の比率が昨年の24%が今年は25%と増えて行く傾向にあり、以前から見られた体育会優先の慣習が是正されつつある。しかしこの比率が増加するのは、会員の数の増加につれてであり、今年迄は社会学部法学部新設に伴つて急激に学生数が増えた為この傾向にあったが来年度で法学部が開設以来四年になるので定員一杯となり、それ以上学生数が増える見込はなくなる。従つて、来年度の比率がその低続けられる事は考えない。しかし諸設備の整つている体育会に比べて文化会は未備な点が多く、音楽関係の部にしても個有の楽器など殆ど揃っていない状態である。この辺にクラブ運営上の大きな問題があるが、文化会では体育会、級委員会とも話し合う余地があると語っている。

なお本部予算に関して、事務費等は昨年より削減したにもかかわらず昨年度の五四万円に比べて今年は六七万円と約一三万円の増額になっているのは什器購入費として輪転機、テープレコーダー、金庫会議用の椅子などの買入を予定し今年新らたに各部援助金として五万円、資料費として一万円を設けた他、過去二三年間文化会長として指導にあたられた菅先生の退別会補助一万二千円などが主な理由である。

昭和36年度文化会予算

部名	本部決定額	部名	本部決定額
映画研究会	69,000	史学研究会	67,430
英語会	79,700	証券研究会	52,810
英米文学会	51,000	心理学研究会	53,940
演劇研究会	70,070	地理学研究会	56,500
音楽芸術研究会	59,500	釣部	40,200
化学会	43,150	テアトルジユンヌ	35,000
科学研究会	48,095	ドイツ文化研	37,320
合唱団アピル	51,460	日本舞踊研究会	10,500
歌舞伎研究会	37,550	ハーモニカ	58,000
棋道部(囲碁)	23,200	フランス文学会	58.260
〃(将棋)	22,400	文芸部	44,810
グリークラブ	70,050	弁論部	59,500
経営学研究会	45,500	放送研究会	68,900
経済管理研究会	22,800	ホテル研究会	65,880
軽音楽部	47,670	むらさき会	61,500
経済学会	86,310	YMCA	50,600
交響楽団	80,500	ワンダーフォーゲル	66,321
広告研究会	59,350	各部合計	2214,884
国際情勢研究会	66,740	文化会本部費	678,359
茶道部	38,600	特別キャプマネ費用	140,000
サバンヌ美術	64,380	立教祭補助金	50,000
社会科学研究会	62,800	同好会友好会援助金	130,000
社会福祉研究会	38,500	再配分額	42,105
写真部	89,090	総計	3,255,350

沖縄に姉妹校
聖公会で建設

この程沖縄にも聖公会系のミッションスクールを設立しようとする動きのあることが明らかになった。米国聖公会が沖縄に教会を設立してから今年で十年になるのでこれを契機に建てようとするもので本学のチャプレンや現地の司祭などの手により計画がすすめられている。最初は高校として作り、ゆくゆくは大学にしてゆこうとする計画で遠山立教小学校司祭が、その必要性を強調していた。現在は本学の理事長・日本聖公会主教立候補の12代主教と現地の宣教師ヘフナー司祭とが中心となつて設立の努力がなされている。今年の九月、デトロイトで開かれる米国聖公会総会には沖縄からも五人出席し学校設立の議案が提出される予定で可決されることはほぼ確実と見られている。現在日本にある聖公会系の大学は、立教大学と桃山学院大学の二つで、沖縄に姉妹校が設立されれば、本学からも多数の教授、チャプレンの派遣が予想され各界の注目を集めている。

沖縄に キリスト教の伝道が始まったのは一九四六年、英国聖公会の司祭ベッテルハイム博士が渡航したのが最初で、それ以来教会は増加の一途をたどっている。教会側は沖縄の近代化をはばんでいる原因として祖先崇拝の盛んなこと、因習、迷信の多いことをあげている。この際教会が中心となつて、宗教教育を施し、若い人達の育成につとめていこうとする狙いが学校設立の件となつて表面化したものである。沖縄聖公会は現在米国聖公会ホノルル教区の伝導管理下にある。法的にいえば本学との関係はアメリカと日本のミッションスクールという関係になる。然し地理的関係から本学とのつながりは深く、あくまでも日本の大学を母胎として作られることになっている。

沖縄の聖公会伝道風景

講演と映画の会

○五月二十四日(水)午後二時四十分、タツカーホールにて。講演者は上原專祿氏

メキシコ映画「忘れられた人々」

主催社会科学協議会
後援文化会本部

貸間の相談は……
日本学生協会
省線水道橋駅際・高田馬場駅裏口

本の御購入は
種類豊富な
東京堂
1階　一般書　参考書　雑誌
2階　専門書　洋書　文庫
神田神保町すずらん通り
TEL (291) 5181

日本を代表する世界的英字新聞
The Japan Times
1カ月 ¥360
学生のための英和両文週刊新聞
The Student Times　1カ月 ¥100
お申込みは朝日新聞販売店またはジャパン タイムズ本社へ
ジャパン タイムズ　東京都千代田区内幸町1の1 591/5311
(見本とパンフレットを差し上げます。ハガキにごらんになった新聞名を書いて本社販売部へご請求下さい)。

波紋

近頃レジャーブームとかで、あちこちの行楽地は人でいっぱい、映画評でこの映画は面白いと書いたら同、上映館は満員、テレビもステレオもジャンジャン売れ、電気冷蔵庫の生産も需要に追いつけぬそうな。▼経済企画庁発表によると、我国のレジャー消費支出額も一兆二千億円とかで、国民所得との割合では、ヨーロッパやアメリカと殆ど変らない水準にあるとのこと。面白いことに広告宣伝費もレジャー支出と同様、欧米なみの水準だそうだ。膨大な広告宣伝の力は相当なものである。▼古来水々と続いた我国の禁欲思想も、異状なまでの機械工業成長率の高さと戦後の自由主義的教育とあいまつた徹底的なマスP・Rによって一片の後をもとどめず崩壊した。▼このような状況を背景に池田の所得倍増計画はマス・コミの波に乗つて全国津々浦々に響き渡つた。ある程度の疑いをもちながらも国民はその心地良いムードに酔いレジャーブームがまき起つた。そのすきに物価はじわりじわりと上がり始めた。高物価、ある程度の高所得、活発な消費経済、この巧妙なトリプルワークは岸内閣時代の数々の傷跡をおおいかくしてなお余り"天下太平、万民レジャーに走る"とゆうような状況まで作り出そうとしている。かつては安保闘争で政府とがっぷり四つに組んだ革新政党も、現在のところ手も足も出ない有様だ。▼一寸所得が良くなつた国民の鼻先に冷蔵庫や自動車をちらつかせれば、もんくも言わず馬車馬のように働こうとゆうものか。レジャーとは本来アクセクと働くこととは無関係のものだ。レジャーを楽しむ階層の存在が今に始つたものでないのと同様、これまでレジャーに縁が無かつたものはこれからも鼻先にちらつくだけで縁が無いのだ▼耐久消費財の価額のみ割安で、値上りムードは国鉄運賃や散髪代、飲食費等、着々と具体化されている。所得倍増ムード、レジャーブーム、物価値上げを操作して一体誰がほくそえんでいるのかと思うと、レジャーブームも薄気味の悪いものだ。

那須　聖(毎日新聞論説委員)著
時事英語ハンドブック
時事英語特有の表現法を、内外の英字新聞や時事雑誌から幅ひろく採った題材によって具体的に解説し、時事英語を読むコツ、書くコツをわかりやすく説いたもの。政治外交をはじめ経済・社会から文芸スポーツに至る多彩な例文により読者はおのずと時事英語の真髄を体得できるであろう。巻末には一流諸会社の入社試験問題集および時事英単語・略語集を付して就職試験準備にも完璧を期した。
最新刊発売中
B6判紙装・246頁・定価250円
好評重版
英語慣用語句ハンドブック
金重三子雄著　B6・420円
東京都千代田区九段4丁目5　培風館　振替番号東京44725

我妻栄・有泉亨著
民法　I 総則物権 330円　II 債権 330円　III 親族相続 330円
「ダットサン」の愛称で数千万の読者に親しまれている名著要望に答えI・II新版出来!
会計学　品田賊平著　A5 360頁　価 500円
法律小辞典全書 全8巻
我妻栄・宮沢俊義・菊井維大 監修　佐藤功・和田英夫著　憲法辞典　小B6・376頁 350円
我妻栄・四宮和夫・遠藤浩著　民法辞典　小B6 416頁 390円
有泉亨・外尾健一著　労働法辞典　小B6 400頁 450円
□ポケットに入る大きさ。□読んで面白く引いて正確。□学習・答案作成に定評。
東京都台東区谷中真島町1　一粒社　振替東京163190

研究社の英語雑誌
近代感覚漲る文化語学誌
時事英語研究
6月号・特価150円
特別付録 マッカーサー大使秘別演説 LPレコード1枚・テキスト付
映画台本研究「神士同盟」テレビドラマ「盗人」米紙社説研究・ケネディ大統領就任演説と聖句(岩崎健弥)・軍隊のアメリカ俗語(山崎英夫)・新語展望
広い視野・実力の源泉
英語研究
6月号・90円
★C. P. スノー訪問記『科学者は何を知っているか』★最初の宇宙飛行士★私の英語遍歴(松下正寿)★風物・人・言葉(福原麟太郎)★米国の旅
【研究記事】現代英文の書き方★語法診断★英会話★映画『月世界一番乗り』
東京都千代田区富士見町二ノ一　研究社　振替東京28601

谷川雁著／最新刊
戦闘への招待
当面する前衛組織論を、実に日本の歴史的二重構造の批判として提起する本書は今日緊急の課題を明確にし凡ゆる仮象を切崩すバネとなるであろう!　上製美本価三六〇円
絶讃三版発売中!　本社出版目録進呈
黒田寛一著 現代における平和と革命 ¥280
黒田寛一著 社会観の探求 ¥210
大島渚著 日本の夜と霧 ¥360
東京西神田2の19　現代思潮社　振替東京72442番

世界短篇名作全集
第1回配本 発売中 フランス短篇名作集 香り高き文学のエッセンス
スタンダール・メリメ・モーパッサン等々六人の名作家のエキスを上にも磨われる代表的な名作の新鮮な名訳集!解説・詳付
第2回 ドイツ(四月下旬)次回以後毎月発売 井上正蔵編・ドイツ短篇名作集 金子奎香編・ロシア短篇名作集 大久保健三郎編・アメリカ短篇名作集 加納秀夫編・イギリス短篇名作集 水谷八也編・ヨーロッパ短篇名作集
最新刊 青春の自画像 あなたの哲学　山崎正和・成瀬正一・武内敏夫著　フランス哲学者と精神病理学者が互いに若き日の姿を語り合う人生論!
科学随筆全集2 物理学者の眼　串田孫一著　お待たせしました、第一回配本は第2巻です。たゞ人の物理学者のみが、ものごとの真理をつかんでいる。ブラックマテ(ディ)ズムまで説く型破りの入門書!
茅誠司・湯川秀樹・朝永振一郎・藤岡由夫・石原純・半太郎・長岡半太郎集　四六判 六360円
B6判・上製 定価各三一〇円
東京新宿区矢来　學生社　振替東京18870

※世界文学全集の姉妹版 小型版 全5巻
世界文学100選
サマセット・モーム■解題と編集■
小説上手で鑑賞上手のモームが選んだ小説百選のうち第1巻はスコット・ボーなど十八編。最近の小説では味わうことのできない名短編のおもしろさが満喫できる。またこの巻ではモームの解題が名小説論になっている。
内容見本送呈(朝日新聞・ベストセラー診断より抜粋)
第1巻発売　小型判460P　各290円
東京神田駿河台下　河出書房新社　振替東京10802番

共立出版の好評科学書
■呈送目録送料■
基礎数学 統計学通論　北川敏男・福井三男著　A5判・二三二頁・価三五〇円
新しい物理学　福田信之・広重徹著　A5判・二二二頁・価三八〇円
基礎課程 物理学実験　奥田毅著　A5判・一七六頁・価三五〇円
工業分析化学実験 下　平野四蔵著　A5判・三四〇頁・価八〇〇円
注解付 化学英語教本　川井清泰編　B6判・一〇八頁・価二八〇円
機械工学ノート　伊藤俊彦著　A5判・二二〇頁・価三八〇円
電気機械試験法　中村辰二著　A5判・四〇〇頁・価一〇〇〇円
新版 電子工学　岡部金治郎・松尾貞人著　A5判・三〇八頁・価六〇〇円
共立全書
位相数学入門　ウオーレス著・河野伊三郎訳　B6判・二三二頁・価四五〇円
物理と化学のための数学 II　佐藤次彦・国宗寛訳　B6判・三七六頁・価六五〇円
有機反応の理論 II　井本稔著　B6判・三三六頁・価六〇〇円
機構学講義 I　渡辺茂著　B6判・一九六頁・価四〇〇円
市民の数学　全8冊　編集 黒田孝郎・穂刈四三二・坂山啓・矢野健太郎
6月上旬より配本の予定。各冊A5三〇〇～五〇〇円
内容 酸塩基触媒反応・酸度関数・芳香核のSN反応と脂肪族のSE反応・芳香性・安定な遊離基他8章。(I巻 三三頁・価四八〇円)
図版や例題・演習問題を豊富に盛り込んで随所に折り込んで機構学全般を新しい視野から分り易くまとめた。(II巻 (6月刊行予定))
行列と行列代数学・量子力学・統計力学・数値計算・線型積分方程式・群論等を説いた関係者の座右書。(I巻 三三頁・価四八〇円)
内容 酸塩基触媒反応・酸度関数・芳香核のSN反応と脂肪族のSE反応・芳香性・安定な遊離基他8章。(I巻 三三頁・価四八〇円)
図版や例題・演習問題を豊富に盛り込んで随所に折り込んで機構学全般を新しい視野から分り易くまとめた。(II巻 (6月刊行予定))
東京都神田局区内駿河台3の9　振替東京57035／電話東京(291)7121～7

構造改革の諸問題（2）

今回は「構造改革の諸問題」の第二回として、前の社会党江田書記長につづき、総評の岩井事務局長に寄稿してもらつた。

本紙が総評に原稿を依頼したのは社会党から出されたこの理論が、日本労働運動の今後の運動方針に大きく影響するであろうと考えたからであり、総評がこの理論をいかに把握、また今後の運動方針にいかに活かしていくかということを理解することは、われわれが今後の労働運動を正しく把握し、発展させて行く上に必要であると考えたからである。（編集部）

労働運動の現状から遊離

実践的検証を欠く理論

岩井章

いま構造改革論がさかんに口にされている。これを主張する側も反対する側も、私には一様に極端にはしりすぎているきらいがあると思えてならない。たとえば主張する側の社会党の方針をみても、（こんどの社会党の運動方針は構造改革を基調とする運動方針だとしているのだが）その説くところは原則的な主張にかぎられており しかもそれもイタリアのトリアッチ理論と別にことなるところはない。トリアッチ理論がイタリアで共産党の実践の場でいかされている各種の具体的政策に似たものが日本の場合社会党によつて提起されているかというとそれもない。たとえば日本における構造改革闘争の重点は、日本経済の二重構造を解消することだといいながら、その運動の基本となるべき全国一律の最低賃金制法制化闘争をどうするかについては別に何も方針らしいものもない。ただ構造改革論がいいんだいいんだと言つているだけのようである。学者や評論家の主張ならば別にこれをとりたて非難するにもあたらぬが、広汎な大衆をゆり動かして蹶起させ、大衆的目的を達成することが使命である社会主義運動や労働運動の場合、具体的実践のみちすじが明示されないかぎり、空論であり、致命的でさえある。一九五六年のイタリア共産党大会で決定されたトリアッチが指導する構造的改良の闘争は、すでにその萌芽的な着想が、一九三六年ごろのスペイン人民戦線の際に彼の頭の中に生れたといわれている。トリアッチはそれを自分の党の方針とするために、二〇年の歳月をかけて検討したわけである。若干注釈をつければ、この構造的改良の闘争が戦略だという意味は、一つの政治的目標に限つて組むいわゆるデイミトロフ式の統一戦線ともがつて、革命を平和的に移行する恒久的な統一戦線を、トリアッチは予想しているからである。社会党はこのような戦略的観点はない。かといつてさきにも指摘したように戦術方針も具体的にあらわれていない。ひたすら観念的に思いつめているというた感じがつよい。

トリアッチの理論は、いうまでもなくコミンターンの定式化された方式をこえる新しい社会主義革命の理論である。ソ連共産党の第二〇回大会で、革命の平和的移行の可能性があることが承認されて以来、構造的改良の理論は、社会主義革命の、いくつかの国における方式として、世界にその通行証をもつたといえるだろう。ところがかたくなにこれに反対している者もいる。日本の代表的な反構造改革論者は共産党本部である。ことさらに共産党本部という意味は、共産党のなかには知的水準の高い人でかなり構造改革論者がいるからである。反構造改革論者の主張は、構造改革の闘争はイタリアの土壌にうまれたイタリアの革命方式であつて、日本には通用できないというのである。

これはまず無難な主張だが、しかし共産党が何故通用できないのかを、日本とイタリアの条件のちがいを明示することによつて論破しているかというと、それはそうではない。ただ絶叫しているだけである。ちようと私の意見をつけ加えると、日本とイタリアは条件がちがうから日本では構造的改良の闘争は適用できないという主張には組しない。何故ならば、構造的改良の闘争は近代資本主義国家の革命理論として普遍性を帯びるものではないかと思うからである。（だからといつて私は、手放しで礼讃できないのである。その理由はのちほど述べる。）ことさらに志賀義雄氏の主張を引用して批判することは恐縮のいたりだが、志賀氏は、構造改革論者は民主主義の拡大を通じて独占資本の生産関係に介入し、これを制限してゆくといつているが、これはマルクス・レーニン主義ではない。レーニンは、政治的民主主義が照らす経済体制は資本主義の自由競争時代であり、資本主義が独占資本主義時代に発展し、帝国主義の段階になると政治的反動が照応するのだといつているが、これは少し乱暴なようだ。ソ連の第二〇回大会が革命の平和的移行の可能性をみとめたということは、コミンターンの理論の発展であるし、平和革命の理論は、本来政治的民主主義の拡大を通じる革命の方式であるからだ。志賀氏の理論を発展させると、平和革命の可能性はつと終りをとげたことになり、ちようと感覚が古すぎる。共産党本部の主張するところが説得力をしく、少し魅引なきつけが感ぜられるのは、論争態度として遺憾なことのように思う。

さて、このように両方にケチをつけてばかりいては、お前はどうだと聞きたおされるおそれがあるそこで私の意見を話すことにする

私はこれまでの日本の運動の経験からいつて、相当構造改革の考え方、たたかい方はとり入れねばならぬように思う。しかし社会党のように構造改革を基調とする労働運動ということは考えられない思いつくままを二三あげて、その理由をいいたい。

今日、急速度で合理化がすすんでいる。それは三池闘争をみてもわかるように、ほとんど資本家の一方的強行ですすんでいる。これに対して、構造的改革の闘争でいつたらどうなるか。構造改革の闘争は独占資本の生産関係に介入して、逆に資本家の政策遂行の責任の一端を組合がおうことになる危険性の方がつよいわけだ。事前協議制にしても、国労、全逓、全電通、あるいは関の炭労のように産業別組織の交渉権が確立しているならばいざしらず、大半の民間の組合はまだ産業別の交渉権がでておらず、こんなときに全体がすぐ事前協議といつても企業別のそれになると、狭い企業の枠内で、労働者の企業意識をつよめるだけのことになる。組合運動の実践的見地からすれば、この配慮が大切なわけだ。相手のあることだから、こちらの希望とおりいかないもので、労働組合の闘争というのは、むしろ希望とおりいかないのが通常のことなのだ。

だから構造改革の闘争は一文の値打ちもないかというとそうではない。今日の合理化に対して、とくに石炭産業のように産業全体が縮少再生産にある産業では、当然労働者の雇用を守るためには国家の政策的なテコ入れが必要となるつまりわれわれのいう政策転換闘争である。政策要求のばあい、二つの行き方がある。一つは社会主義政権にならねば実現できない政策をかかげることである。一つは政策転換闘争をかかげることである。前者は政策転換闘争とはむしろいえないものであつて、革命闘争だ。後者のばあい問題となるのは、革命勢力が院内少数派のばあいはどうなるかがある。それは政策が究極的には院内で決定されるものである以上、院内の多数をとる必要があるということだ。少しややこしいがこのとき次の二つのことが考えられる。イタリアのようなばあいは、小党が沢山あり、最大党のキリスト教民主党さえも八つの派閥に分れているから、共産党、社会党を中心とした院内多数をとるための政治的妥協が容易である。また反面、国会に国民の意志を反映する政府の責任を負えという政策要求をたているが、一向にうけつけない。こうなると、怒りに燃えた労働者の抵抗闘争が激化するだけで、結局政策転換闘争は徒労に対決の場となるわけだ。

この時の政治責任を、社会主義政党として明らかにすることなく構造改革の方針にゆとかが、構造改革の方針はいけないとかいつても、それは労働運動に密着する苦がない。大衆行動の主力が労働組合である以上、これに密着しない政党の理論は絵ごとではないか。

そこで私が結論としていたいことは、日本の運動のこれまでの欠陥を反復し、これを前進させる方法が明らかにされて、その方針を構造改革の方針と呼ぶのであれば、それは結構なものだが、その運動の実体から離れて、青写真のようなものであるならば、運動にとつて有害だということだ。いま語られている構造改革論はすべて未熟であり、これは実践的な検証が多分に不足していると私は指摘したいのである。（筆者いわいあきら氏は総評事務局長）

池田政策の問題点

安保体制の強化と推進

昨年の五月十九日、岸前内閣は日米新安保条約を衆議院で強行採決した。安保闘争の激動の中で新安保条約は自然承認となり、岸内閣は退陣した。岸内閣の後継として登場した池田内閣は、昨年十一月の総選挙を経て、所謂「池田新政策」として、新安保体制を推進、強化する一連の反動政策を高姿勢ですすめはじめた。

現在、終盤を迎えた国会に於て、池田内閣は安保体制推進のための反動立法及び改悪を強行しつつある。

すなわち、先頃衆議院を強行通過させた農業基本法案、防衛二法案（防衛庁設置法、自衛隊法）I・L・O条約批准にともなう国内関係五法（公労法、地公労法、国家公務員法、地方公務員法）暴力防止法案等の立法及び改悪である。

安保闘争が一応の終結を見せてから一年近くたつた今、池田内閣が新安保体制の推進、強化としようとしたことは反動政策の意味を明確に示している。

ここ数年来、日本独占資本の設備投資は目覚しいのぼり、設備過剰の状態にあつた。これを打開するために産業規模の強化及び合理化による供給能力の造出を行い、一方需要能力を内需及び海外市場の開拓によつて造出する必要があつた。そしてアメリカ帝国主義との結びつきによつてこれを求めようとしたのが新安保条約であり、貿易自由化政策であつた。池田内閣はこれをもとに経済高成長政策を打ちだしたのである。

このような背景から労働力の供給と産業の合理化、特に後進産業である農業の合理化が必要となつたのである。

農業基本法とは、現在約一四五〇万の農業人口を、十年間に約三分の一の四六〇万程度に減らし、約一千万の農業人口を第二次、第三次産業に吸収すること。農業の増大する農産物の生産は増進するが、農業が減少するものの生産を転換し、外国農産物と競争関係にあるものの生産は合理化すること等がその主要点である。このことは第二に産業予備軍としての大きな労働力が生み出されるが、農業合理化により低賃金労働の増大に拍車をかけることのみならず日本経済の二重構造はますます増大するであろう。農業生産の合理化は自用化による国際競争力育成策にあるものであり、これは独占資本による農産物の輸入自由化による中小農民は貴滅的打撃を受けるであろう。これらは独占資本を強化し、海外進出をはかるほかならない。

防衛二法案の意図は、一つは、自衛隊の編成及び配置転換を行いNEATO結成にむけての実戦体制の強化にある。他方、国内の治安維持のための治安立法である。ここで治安維持とは明らかに反体制運動に対する弾圧を指しており、弾圧のための治安立法である。

I・L・O関係法は労働者解雇の要求と世界情勢の変化から放つて置けなくなり、条約を批准するが、実質的には国内関係法の改悪によつて骨抜きにしようとする労働運動に対する圧迫である。

現在、伊豆新島において、ミサイル試射場の設置が防衛庁によつて強行されている。これは、独占資本による軍需産業の復活であると同時に、NEATO結成への準備としての側面を持つている。

これら、現在強行されつつある一連の反動政策はいずれも安保体制強化政策の具体的現われであることに注目しなければならない。所得倍増のキャッチフレーズで登場した池田内閣による安保体制の強化、推進を狙うものなのである。

現在、これに対する反体制側の闘いは大きな立ち遅れを考えさせている。すでに農業基本法案、防衛二法案は衆議院に通過してしまつた。昨年五月衆議院を強行通過した新安保条約は一年を経た今、強化推進の具体的政策となつて現われてきている。これら反動政策に対する闘いこそまさに安保破棄への闘いに続いている。

スポーツ

◎野球…東京六大学野球リーグ戦（第五週現在）

立東一回戦　○立　大　4―0　東　大
二回戦　○立　大　12―0　東　大○
立慶一回戦　立　大　3―10　慶　大○
二回戦　立　大　1―9　慶　大○
立明一回戦　○立　大　1―0　明　大
二回戦　立　大　1―3　明　大○
三回戦　立　大　1―4　明　大○

◎フエンシング…世界選手権大会兼ユニヴァーシアード派遣大会
男子フルーレ　❷山下（立大）9勝2敗
本学の山下君はサーベルにも5勝6敗の成績でユニヴァーシアードの代表5人（男子）の中に選ばれた。

◎サツカー…第41回日本サツカー選手権大会
（5月4日、藤枝市）
準々決勝
八幡製鉄　4―1　立　大
優勝は古河電工

◎軟式テニス…東京六大学春季リーグ戦の結果
法明慶について第4位

◎バドミントン（3月22～24日）
昭和35年度全日本綜合選手権大会で本学の小宮君が男子シングルスで優勝、男子シングルスは法政に敗れて第二位になつた。
男子単　小宮好雄（立大）岡崎（緑ケ丘高）
決勝　（15―6、15―5）
男子複　法大　2―1　立大
決勝　（沢田、森）（板垣、長谷川）

◎第40回関東学生陸上競技対抗選手権大会
5月13・14日　国立競技場
200m　❶富田喜興　22秒2　❹杉本明彦
100m　❸富田喜興　11秒3　❺杉本明彦
1500m　❸橋本正彦　3分18秒7（大会新）
マラソン　❹瀬沼俊彦　2時間34分15秒
走高跳　❻木俣貫隆　1m80
走巾跳　❹松下呼史　7m09
同総合得点　❶中大127½　❷日大79　❸教大50　❹早大42　❺日体大41½　❻立大28½　❼慶大25½　❽法大18½　❾専大14　❿明大13

新島に自衛隊上陸

道路の整地ほぼ終了

五月七日、伊豆新島に自衛隊隊上施設大隊百七名が上陸し、新島前浜海岸には建設資材が陸揚げされた。新島本村から試射場予定地ハタ地区へ通ずるミサイル道路工事は秘人れ式以来続行されており、整地作業はほとんど終つたようである。今度の自衛隊上陸の目的は新島の北端郡から本村へ通じる都道の改修及び若郷渡浮桟（とふね）港の整備ということになつている。

これは地理的条件から築港が技術的に困難な黒根港の整備をあきらめ、渡浮桟港を建設し、ミサイル試射場用の大型機材の搬入に利用しようとするものなのである。村議会の議決では、ミサイル道路工事は村の共業対策事業として日当六百円の村民の手で行い、防衛庁は黒根港を改修する、という事が明記されている。それにもかかわらず防衛庁は今度の自衛隊導入によつては反対同盟村民による労働組合も結成された。

道路の整地作業がほとんど終了したとみられることから、ハバタ地区の試射場建設工事は時間の問題とみられるに至つたわけである。五月下旬から六月頃とみられるこの最後のヤマを控えて、現地では大量なオルグ団の支援が望まれている。

七日朝新島前浜海岸に資材を陸揚げする自衛隊

この時の政治責任を、社会主義政党として明らかにすることなく構造改革の方針にゆとかが、構造改革の方針はいけないとかいつても、それは労働運動に密着する苦がない。大衆行動の主力が労働組合である以上、これに密着しない政党の理論は絵ごとではないか。

そこで私が結論としていたいことは、日本の運動のこれまでの欠陥を反復し、これを前進させる方法が明らかにされて、その方針を構造改革の方針と呼ぶのであれば、それは結構なものだが、その運動の実体から離れて、青写真のようなものであるならば、運動にとつて有害だということだ。いま語られている構造改革論はすべて未熟であり、これは実践的な検証が多分に不足していると私は指摘したいのである。（筆者いわいあきら氏は総評事務局長）

赤外線

アクテイブな教育の場に

現在の教育制度に欠陥のあることは誰でも認めざるをえまい。九年間の義務教育、三年間の高校生活、更に大学に学ぶ者にとつては、十数年の歳月を「教育される場」で過すことになる。しかし、人生の四分の一近く教育を受けていながら、いまだに混乱の絶えない社会しか作ることのできないのは何故だろうか。実社会に出てしまうと勉強とは永久に手を切つてしまう人が多いのは何故か。社会の変革が生まれにくいというのは何故か。それはあくまでも、我々が教育機関を「教育される場」としか考えていないためではないか。夢の多い高校時代を〝受験のため〟に返上し、大学にはいるという事のみ追つてしまい、その夢を全て大学に入学したら、という事にし、勉強を単に暗記的、公式的なものに追い込んでしまうためではないか。あまりにも受動的なものにしてしまい真の本質探求を忘れてしまうためではないか。

結局、我々が現実を無視する事の出来ぬ弱さを持っているため、必要以上に現実を重んじ、しらずしらずの間にその枠の中にとじ込められ、一つの先入観を作りあげ、遂には、その枠から抜け切れないためであろう。大学に来てもただ目先の快楽しか追うことの出来ぬのも、あがきにすぎないのだろう。我々は大学教育を受けているが、それはあくまでもパッシブではなくアクテイブでなければならない。本当に自分の為になる自主的なものでなければならない。「教育される場」でなく「教育する場」でなくてはならない。学問のみならずサークル活動に於ても同様でサークルは、そのサークルの本質追求を怠り、表面的な対人関係のみ求めるのであれば、意義はなくなつてくるだろう。常により良い物、正しい物を追求することに努力しなければならない。我々は、無意識のうちに環境に同化され妥協性に富んでくる。妥協は必要な事であるが、妥協性に富み過ぎる事は危険である。自己を完全に見失い、従順な社会の奴隷と化してしまうおそれがある。そこには、何ら進歩・発展は見い出せない。学生に要求されている物は何か。…単に大学を就職のためのレッテルに等しいものとしてよいのだろうか…。（新入生）

会告

三十六年度新聞学会スタッフ

委員長　山内豊彦（経三）
編集長　渡辺勝三（社三）
同次長　菅沼東（文三）
同次長　加藤啓（文三）
総務部長　鈴木繁夫（文三）
同次長　藤巻惠次（経三）
同次長　堀子功二（経三）
営業部長　山本剛司（経三）
同次長　中原康雅（社二）
会員　保坂三蔵　木倉資展　永田全弘　桜井克士郎　大内和　石井孝　神田裕　大野善彦　秋田一三　鈴木恭一　高草木都　木内洋一　平田理子　秋吉輝雄
準会員　伊藤肇栄　笹目正弘　本智現　土屋博正　長田健介　元吉享　沢渡和江　岡博之　村山知子

DROPS　森永ドロップ
おロにポン！　とひと粒たちまちしぼりたてのジュースになります
森永ドロップ
フルーツジュース
オレンジ
モモ
ストロベリー
チョコレート
フレッシュミツ
10円

池袋西口
名曲と珈琲　らんぶる
十周年記念サービス
コーヒー　サンドイッチ
ミルク　玉子付
アイスミルク　¥60
（但し除・日・祭日）
立教通り
TEL（971）5656　AM：8.00-P.M3.00

日本麦酒株式会社
SAPPORO BEER
本場の味
サッポロ

●おフロ場に　●ご旅行に
●洗面所に　●いつでも
●お台所に　●どこでも…
●オフィスに
資生堂石鹸　ホワイト　1コ30円

ダンスと音楽のホール
専属楽団
東京キユーバンボーイズ
チヤーリー石黒と東京パンチヨス
伊吾田勇三とヴエノスアイレス
原信夫とシヤープス＆フラッツ
（外一流バンド交互出演）
平日　200円　土・日・祭日　250円　喫茶付
毎日出演のバンドは東京新聞朝夕刊に記載
でんわ（331）7561 7247
飯田橋松竹
（国電飯田橋駅下車2分）

芳林堂書店が
新社屋に移転致しました。
バス通りの住友銀行となり
エトワール映画館の前です
倍旧の御引立てをお願いします
BOOKS HORINDO
TEL（971）4080・8025～27

写真集編集・印刷
美術写真制作・出版
株式会社　恵雅堂
東京都新宿区山吹町一二八
電話（341）9390番
振替　東京七八四一三

満洲の思い出を集めて
東京で一番旨い
餃子會館
（新宿）歌舞伎町西武新宿駅前（本店）（368）6603
（新宿）歌舞伎町西武新宿駅前（支店）（371）4369
（新宿）スケートリング横味の街2階（368）5491
（新宿）柏木鬼子母神横丁紀所通支店（369）4835
（池袋）南口東上線改札口前（971）4985
（有楽町）西銀座デパート地階売店
（芝公園）東京タワー2階売店
（事務所）東京都新宿区百人町2～57（369）5417

立教大学　学生相談所
次の先生方が学生諸君の相談に応じています。どうぞ気軽においでください
赤司道雄　一般教育部助教授　キリスト教倫理担当　木・11～1
早坂泰次郎　文学部助教授　学生部副部長　社会心理学担当　火・1～3
岩井裕彦　一般教育部助教授　学生部長学生相談所長、キリスト教倫理担当　金・12.30～2.30
菊井維大　法学部教授　民事訴訟法　破産法担当　水・12～2
工藤俊雄　学生部学生厚生課長代理、奨学金、アルバイト、下宿担当　木・12～2
森脇要　文学部教授　教務部長　臨床心理学担当　月・11～1
岡崎昇　学生相談所嘱託　茨城キリスト教短大講師　水・10～3
奥野徹　立教学院診療所長　医師　火・1～3
佐々木剛　文学部教授　教育学、教職課程担当　月・12～2
住谷一彦　経済学部助教授　社会思想史担当　金・11～1

明るい床材
特許
三星プラスタイルP
三星ルーフィングの
田島応用化工K.K.
東京・足立区小台町　大阪・西区京町堀

沖縄

基地の島の実態

最近沖縄に関する報道が多くなったといわれる。事実、観光ブームの波にのって「観光沖縄」が盛んに宣伝され、未知の資源に対する興味が「西表島」をニュースにさせる。しかし「基地の島」沖縄の真の実状は殆ど報道されていない。激しい基地闘争の中で今年も一人伊江島で射殺されたという事実、物価が本土の三割から四割高しかも賃金水準は本土の六七・六パーセントの位置にしかない、という事実を一体どれ位の人が知っているだろうか。物価はさらに上がる気配をみせ、貧富の差は極端に広がりつつある。ミサイルの発展に伴って新たに多くの土地が接収され、ミサイル基地が建設されている。われわれ立教大学新聞学会は沖縄の真の実状を調査し、報道することを特に重要な課題と考え、取り組んできたが、このたび一昨年の派遣にひき続き第二次の現地調査団を派遣した。

今回は従来の総花的取材をやめ、基地闘争と植民地経済の実態の二点に焦点を絞って取材活動を行った。この二点がまさしく沖縄の矛盾のすべてであり、これを追求することによって「矛盾の島」沖縄の真の実状が明らかになると判断したからである。以下はそのレポートである

前進する伊江島の闘い

苛酷な弾圧のなかで

基地というとすぐ沖縄を思い起こすほど「基地の島」としての沖縄はよくしられている。また本土においても基地の名は、砂川闘争内灘闘争、富士演習場返還闘争などの一連の基地闘争によって広く知られ、米軍基地は沖縄と日本が共に直面している矛盾の源になっている。沖縄の基地闘争は本土は比較にならないほど困難な状況のなかでたたかわれている。膨大な軍事施設と激しい弾圧を前にして、沖縄の人々は無気力とあきらめの言葉ももらすのである。

強い反抗心をその言葉の裏に感じるだけに、彼らの言葉は重苦しく響いた者の頭にのしかかってくる。だが、沖縄最大の米軍爆撃演習地伊江島の状況は他とは大分異っていた。そこには、過去五年の苛酷な闘いの経験がもたらした自信と、ドス黒いエネルギーが充満していた。それはかりではない、今後の闘いの方向を見定めようとする伊江島真謝（マジヤ）区の農民の姿勢には、他の何処にもみられない志向があった。孤立無援で五ケ年を戦かい抜き、さらに理論的武器を身につけて勝利へ前進しようとする〝伊江のたたかい〟は沖縄のみならず、全国の基地闘争に重要な教訓を与えようと思われる。

伊江島は沖縄本島の西海岸にある半島の先、本部（モト ブ）から船で三〇分の距離にある、原子力潜水艦そつくりの形をした島である。総面積は六〇〇万坪。その六三%にあたる四一六万坪が軍用地として武力によって接収され、爆撃演習その他に使用されている。「一九五五年三月一一日、米軍の武装兵三百人が上陸用舟艇で上陸し、土地の農作物と山林を焼きはらい家をひき倒して土地を強奪した」一人の農民が接収当時の模様を激しい怒りをこめてこう語った時、想像を絶する米軍のやり方に驚くばかりだった。その後一九五七年十一月までの経過は、真謝区民から米国民にあてた〝祈りをこめた嘆願書〟が語ってくれる。

☆……その後今日まで不幸は絶えることなく、生活の補償のないわれわれは、演習地内の自分の土地以外では働く土地がないので、生命をつなぐため演習の合間合間に農耕していますが、軍は無情にも軍用犬をつかい又はその他の武器によって、つぎつぎと逮捕投獄をなし、その上莫額の罰金まで取り上げています。

☆一九五七年七月には故意にガソリンを散布して砂糖キビを始め山林原野三千余万坪を焼き払い、その損害百五拾万円を超えていますが、何等の賠償もなされていません。

☆一九五七年十一月には、演習場とは全然関係ない場所に石川清鑑君他四名の区民が農耕にゆく為演習の終るのを待ってたら、その背後に移動式立入禁止の立札をたて、午後五時過ぎ逮捕し、罰金と投獄の軍刑に処せられています……われわれは斯る権力と偽まんに単なる生活苦からだけで反対を訴えているものではありません。大局的見地から即ち崇賢の教えと世界の歴史に照らして戦争に反対し戦争準備に反対し、米国の沖縄政策に反対し、その反省を強く喝望するからであります。

一九五八年五月二五日
現区長　石川　清達
議　員　阿波根昌鴻他
米国大統領
アイゼンハウアー閣下殿

「弾にあたれば死ぬことが分っていても、闘争して弾の落ちる近くへ走ったものです。自分から三米ほどのところに落ちたら飛び上がって喜びました。それはほとんど自分のものになったんですから」

ことし、一九六一年に入って、二月一日、伊江島の演習地で真謝区の平安山良福君ら六名が演習弾スキップバームで射殺された。

平安山君の射殺されたのは演習地域外であったにも拘らず、米軍は本人の自損行為だと発表し、さらに射殺のすぐ後でさらに演習地域を拡大するという、みえすいたごまかしをおこなっている。

現場に行ってみると、射殺現場を狙んで三本の境界線があるという状況であった。

一九五五年以来五年余、尋問、暴行、逮捕、投獄、焼き打ち、軍用犬、毒ガス、ブルトーザーでの破壊、ありとあらゆる手段を用いて米軍は伊江島真謝区の農民などを演習地から追い出そうとした。しかし農民たちはあらゆる迫害にも耐え、実力で闘い、いまだに土地収用の承諾書に判を押していない。それどころか、一九五六年、当間主席を団長とする派米代表に対して真謝区の農民から次のような注意が「派米代表に対する要望書」の中に堂々とかき込まれ、送られているのである。

☆派米代表に対する要望書……われわれ四カ年の真謝区民の体験から申しますと、米人は始め非礼（オドス・オダテル・ココロミル・・巧言令色なり）を以つて臨んできます。もしこちらがその巧言令色さに同調した場合、すかさず非道な取決めに持ってゆく機智に富んでいますから注意ください。

派米代表
行政主席　当間重剛殿
他

農民達は最近になって、焼きうちにも対抗できるように、お互いに資金を感通し合い或いは借金をして、セメントブロック、カワラぶきの家をたてている。演習地内に家を構えている農家約三〇軒に達し、勝利まで戦い抜く決意をますます強固なものとしている。この彼らの強さはいったいどこから生れてきたのだろうか。戦い抜く決意は何によって支えられているのだろうか。

米軍機は地上30米まで降下して爆弾を投下する

第一は（最も基本的な事で あるが）真謝区農民の土地に対する強い執着である。伊江島真謝区の農地は特に肥沃で、年間平均三〇仙（五八仙（坪当り）の生産が上がる土地に対して、軍が一方的に決めた使用料は一仙〜二仙で問題にならない。土地を取り戻し本格的な農業を行いたい。

これが農民の共通の願望である。

第二としてよい指導者にめぐまれていることをあげなければならない。特に印象に残ったのは阿波根昌鴻（アワゴンショウコウ）氏であった。真謝区の地主であり村議員である氏はクリスチャンである。生活は清貧そのものであり、お茶を買う金に酒煙草はもちろん、お茶を買う金で少しでも演習場返還運動の助けをしなければいけないのだというのである。しかし〝伊江のたたかい〟を調査に来る人々に対して、氏はすべてを惜しまない。広大な演習場にタクシーをとばし、莫大な量の写真を資料に提供し、宿まで世話をしてくれる氏には全く頭が下がった。すべて自費でもてなしているのである。キューバにも行きカストロに会ったという氏は英語自在の国際人でもあった。氏いることである。阿波根氏はこう語った。「われわれは今まで、土地に対する執着心、私有地擁護の意識でたたかってきた。しかし現在痛切に感じるのは、沖縄の直面している政治的、経済的問題と切り離して伊江島のたたかいを考えることはできない、ということです。思想のないたたかいはありえない。そのたたかいは結局孤立してわれわれの場合、閉鎖的私有地意識にとらわれてしまうことになります。これでは勝てないことを私達は五年間のたたかいの中で感じてきました。一人一人が理論的武器を身につけなければたたかいは勝利しないでしょう。沖縄で、さらに本土で、基地撤廃、復帰、戦争反対を目的とするすべての人々と共に闘わねば勝利しません」

だからといって、本土のようにすぐオルグを入れるなどということは考えられない。伊江島ではそれを目実にして、最大の弾圧が米軍の手で用意されているであろうからである。そうすれば、彼ら自身のたたかいばかりでなく、沖縄全体のたたかいに一つの挫折を招くだろう。農民達の五年間にわたる苦難の体験が、無言のままそれを語らせるのである。

そこで農民達は弾圧の目実を与えないために、自分達だけの手で理論的指導者を作り出そうと考えた。そして実行に移した。真謝区の農民で多少でも余裕のある家から、各戸一ケ月一ドルずつ出し合って、本土に二人の代表を理論学習のために送り、学習終了後呼び戻して自らの理論的指導者としようとしているのである。数多くの基地闘争の内に、求められ、得られなかったものが、ここにある。本土に帰った後、この二人の学生（といっても一人は三十五歳を越していたが）に会い、中央労働学院で熱心に学んでいる様子を知ることができた。

他の何処の基地闘争にもみられない困難さと、何処にもみられないエネルギーと創造性とをあわせもって前進する〝伊江のたたかい〟はあらゆる基地闘争の模範となるに十分である。

伊江島を去る時、若い青年会長はこういった。「演習場を取り戻してそこで本格的農業をやりたい牧畜もなかなか有望なんですよ」

最も困難な五年間の基地闘争をたたかいぬき、更に理論的武器を身につけて前進しようとする、伊江のたたかいは必ず勝利に至るであろう。

武力で家を追われた農民はテント小屋に住まねばならなかった

労組員の資金カンパには連日50弗以上がよせられた

アメリカ帝国主義の現実

高物価と低賃金

苦しい沖縄県民の生活

現在沖縄では経済面での矛盾の激化がたっているように思われた。

一昨年の第一次派遣の際には、労働争議などは殆ど見受けられなかったが、今回は四つほどの中小企業が争議中であった。また物価が更に上昇しており、われわれも準備した金額では足りず窮屈な思いをしなければならなかった。

個々の指標はあとまわしにしてまず経済的矛盾の根源を探ってみるとまず琉球政府財政の内容に一番の原因があるようだ。

琉球政府財政

琉球政府の予算規模は年々拡大されており、一九六一年度は次のように決まっている。総額は歳入歳出とも二七、六三三、五三七ドルで、そのうち米国民政府（民政府）補助が四、五七五、〇〇〇ドルである。総額に占める民政府補助の割合は僅か一六・六パーセントにすぎない。本土では平予算総額の六〇パーセントが平均国庫依存であり（昭和三一年）これと比較すれば米国の援助額がいかに少ないかが分かる。この事実ひとつとつてみても「沖縄は米軍が居るからこそ成り立つのだ」という悪宣伝が事実無根であることは明らかである。

さらに、沖縄が本土から分離され、琉球政府が一国家の形態をとられ、国家的事務までも負担しているため過重負担は苦しい。

例えば検察庁、裁判所、税務所、税関等の本来国家が負担すべき事務費や人件費をすべて琉球政府が負担している状態になっている。これら国家経費は政府総予算の五六、五パーセントにも及んでいる。つまり、沖縄が本土に復帰すればこの国家的経費は不要となるわけである。この半額以上にのぼる国家的経費によって、沖縄の時局経済を助長する補修費用は結局三〇パーセント前後に抑えられ、これがアメリカ資本の流入を招いて県民の生活を根元から締め上げているのである。いいかえれば米民政府の過少援助と、沖縄の国際法上の位置（潜在主権という形で日本である。米国民政府は一九五〇年民政府一般資金とよばれる営業形式をとった。これは、民政府代行機関からの収入、金融機関および公共施設機関に対する投資からの収入によって成っていて、六〇年六月末現在の一般資金総資産高は四五一〇万ドルにのぼっている。

この一般資金は金融及び公共投資に出資され、多大な利潤を生むのである。例えば琉球銀行・琉球生命の金株式のうち五一％を米国つている。アメリカ帝国主義による植民地支配の一典型がここにみられるのである。

賃金水準と物価

植民地経済下で沖縄の人々は非常に苦しい生活を強いている。「低賃金と高物価」ということばをまるで合言葉のように、われわれは聞かれた。公務員の実質収入を例にとって沖縄の賃金水準を本土のそれと比較してみよう。

公務員は沖縄の平均給与四七、〇八八ドル、期末手当十五箇月四、〇〇〇人が四〇ドル以下の低賃金階級であり、五〇ドル以上の賃金階級は二八・六％の二五、〇〇〇人がいにすぎない。

この低賃金に加えて物価高が生活困難に拍車をかけるのである。

沖縄の物価は一律に本土の三割三分高といわれるが、主食に関しては五割高が常態になっている。また、食料、衣料品などの生活必需品が特に高いのも植民地経済下の収奪を露骨に示す一面である。

一例を上げよう。白米二倍（本土の）、入浴料二倍、家賃一・五倍、水道料五倍、電報料二倍、公衆電話五倍（十八円）。

沖縄ではいま民間団体が低物価運動をおこし、政府も一応低物価政策を打ち出している。が、物価は一向に下がる気配をみせない。高物価、低賃金の原因はアメリカ資本による大量収奪がその直接の原因であって、しかもそのしわよせは増税などで沖縄県民に課せられているのである。今年度も琉球政府は、財源獲得の見通しがつかず窮状に陥っている。

労働組合と争議

われわれが訪れた今年は労働法（民政府が所有し、その他石油・電気・水道など沖縄県民の生活に直接関係ある産業部門の資本を殆ど抑えている。植民地政策の露骨な搾取がここにみられるのである。ちなみに、沖縄県民の水道料は五倍、電灯料は三割高である。

このように、米国民政府は沖縄県民の一方的犠牲のもとに膨大な軍事基地を持ち続けているばかりでなく、その上、重要産業資本を抑えて県民からの大量収奪をはかっている。米国民政府は一九五〇年民政府一般資金とよばれる営業形式をとった。これは、民政府代行機関からの収入、金融機関および公共施設機関に対する投資からの収入によって成っていて、六〇年六月末現在の一般資金総資産高は四五一〇万ドルにのぼっている。

この一般資金は金融及び公共投資に出資され、多大な利潤を生むのである。例えば琉球銀行・琉球生命の金株式のうち五一％を米国

アメリカ資本の進出と収奪

沖縄というと即座に「基地」が思い出されるほど、軍事基地としての沖縄は一般に知られている。だが、もう一つの重要な側面である「沖縄の植民地経済」についてはあまり知られていない現状に

たたかいの今後の方向

このオリエンタル争議の中で注目すべき事が一つあった。それは一カ月以上のたたかいに、労組員と寝食をともにし、中学を出たての女工員たちに「共産党宣言」や「賃労働と資本」を教え、ビケ破りに対してはともにスクラムを組んだ「琉大マルクス主義研究会」の存在である。オリエンタルの四〇日にわたるたたかいを支えた重要な柱の一つとして「琉大マル研」があったのである。「琉大マル研」は昨年、沖縄におけるアイク抗議デモを頂点とするたたかい

基地の島の実態

資金を感通し合い或いは借金をして、セメントブロック、カワラぶきの家をたてている。演習地内に家を構えている農家約三〇軒に達し、勝利まで戦い抜く決意をますます強固なものとしている。この彼らの強さはいったいどこから生れてきたのだろうか。戦い抜く決意は何によって支えられているのだろうか。

第三としてそして、このことが最も重要なことなのであるが農民達と指導者が闘いの現在の状態には決して満足して居らず、新しい戦いの方向を求めて努力していることである。

この方向は本土における労働者階級の立派な指導にあたっていると思われた。

第三の基盤は編り固められている。

この方向は本土における労働者階級の立派な指導にあたっていると思われた。

平安山氏等が協力して真謝区農民を中心にして社会党伊江支部長の指導にあたっていると思われた。

第三としてそして、このことが最も重要なことなのであるが農民達と指導者が闘いの現在の状態には決して満足して居らず、新しい戦いの方向を求めて努力している。

身のたたかいばかりでなく、沖縄全体のたたかいに一つの挫折を招くだろう。農民達の五年間にわたる苦難の体験が、無言のままそれを語らせるのである。

そこで農民達は弾圧の目実を与えないために、自分達だけの手で理論的指導者を作り出そうと考えた。そして実行に移した。真謝区の農民で多少でも余裕のある家から、各戸一ケ月一ドルずつ出し合って、本土に二人の代表を理論学習のために送り、学習終了後呼び戻して自らの理論的指導者としようとしているのである。数多くの基地闘争の内に、求められ、得られなかったものが、ここにある。本土に帰った後、この二人の学生（といっても一人は三十五歳を越していたが）に会い、中央労働学院で熱心に学んでいる様子を知ることができた。

他の何処の基地闘争にもみられない困難さと、何処にもみられないエネルギーと創造性とをあわせもって前進する〝伊江のたたかい〟はあらゆる基地闘争の模範となるに十分である。

伊江島を去る時、若い青年会長はこういった。「演習場を取り戻してそこで本格的農業をやりたい牧畜もなかなか有望なんですよ」

最も困難な五年間の基地闘争をたたかいぬき、更に理論的武器を身につけて前進しようとする、伊江のたたかいは必ず勝利に至るであろう。

従来、沖縄におけるたたかいは日本復帰を至上目的とし、全県民の民族感情に訴えながら「日の丸」を旗印としてたたかわれてきた。

だがアメリカ帝国主義に対する直接のたたかいは殆ど組まれず、個々の基地闘争が祖国復帰のスローガンのもとにたたかわれてきたにすぎないといえるだろう。しかし、経済的矛盾はどうしてもアメリカ帝国主義の露骨な植民地政策を暴露せずにはおかない。しかも経済的部面での県民の不満はますます昂じ、労組の結成はすすみ争議は多々発生している。「昨年の沖縄の運動は琉大マル研が主導権を握った」という人もかなりみられた。この事実をみてもわかるように、すべてを権力闘争に結びつけていった従来のたたかい方から脱け出て県民の経済的要求をふまえ、労働者を中核として植民地資本主義に対抗してゆくという運動の正しい発展の兆しが伺えるのである。沖縄社会党も結成されて三年にしかならないが、青年団活動家の支持を得ており、党の運動方針（六〇年度）の中で、次のようなたたかい方が明確にうち出されている。

運動の基調（沖縄社会党）

……党は受（原則編広の統一戦教）論をうち破り、党が先頭に立ってあらゆる運動の主体を労働者、農民を中核とする勤労者階級を中心に統一戦線を推しすすめるよう指導しなければならない。

この方向は本土における労働者階級と民主勢力にも完全にあてはまるであろう。本土と沖縄の階級的連帯でこからかちとる復帰、運動はますますこの方向にすすみつつあり、また進ませねばならない。

新緑の
奥武蔵
ハイキング特選コース
池袋から
天覧山・名栗川……往復220円
鎌北湖……回遊270円
奥武蔵高原……回遊300円
黒山三滝……回遊310円
伊豆ヶ岳・子ノ権現……回遊325円
大野峠・丸山……回遊385円
正丸峠……往復390円
武甲山……回遊480円
毎休日急行運転
池袋発 武甲号……6.54
正丸号……7.54
奥武蔵号……8.54
伊豆ヶ岳号……9.54
西武電車
TEL (971)0635 (368)5492

趣味の洋品雑貨
ウイスタリア
SHINJUKU

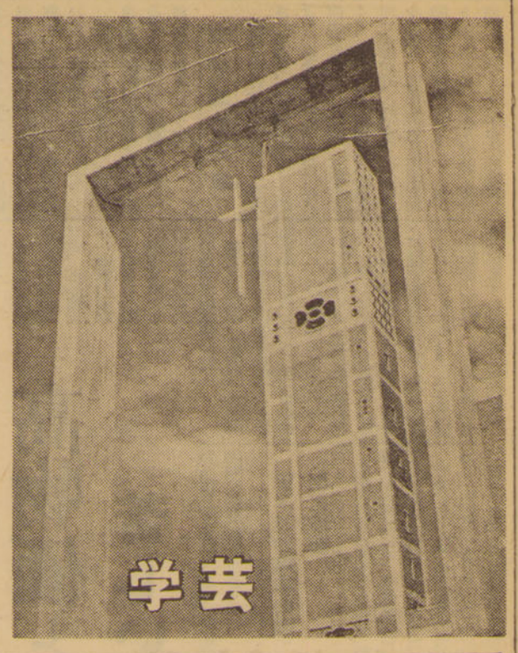
一大国際機構の中で発展するシエル石油
■当社は1900年ライジング・サン石油会社として創立以来60年の歴史に輝き、資本金24億3千万円、石油及び石油製品の輸入、貯蔵及び販売を行なっています（営業所—東京・大阪・福岡・札幌）
■一大国際機構ローヤル・ダッチシェルグループの一員としてその膨大な資源、機構に連結して日々躍進しています。
■発展の途上にあるシエル石油は優秀な大学卒業生の活躍を期待しています。入社についてのお問い合わせは随時下記へ御連絡下さい。また志望者の御訪問も歓迎します。
SHELL
東京都千代田区丸ノ内2—3東京ビル内シエル石油株式会社
人事部採用課（215号室）電話（231）4371（代表）
シエル石油株式会社

NKK
世界に誇る
最良の製品
製鉄・造船
日本鋼管
東京・大手町

立教の記念品
立教オルゴール
セントポールのマスコット出現！
立教オルゴールは世界に誇る日本のオルゴール技術を木彫り技術によって完成されたものであります。誇り高き日本のセントポール大学の姿を最高に表現しているといわれ全国の校友から賞讃されています。アナタのルームのアクセサリーに、入学、卒業、結婚などのプレゼント用に絶好です。
立教のシンボル大学本館から感激のメロディーが流れます
大学本館縮図型原色木彫工芸品
卓上置入れ又は貴重品入れ
至二五〇〇円（送料共）
地方は発送、都内は配達
サイズ
間口二九、五センチ
奥行一四、三センチ
高さ一三、六センチ
重さ八五〇グラム
意匠登録
セント・ポール・全由入り
五輪日輸出オルゴール製造元
竹山貿易株式会社オルゴール部
東京都荻窪局区内天沼三ノ九五〇番地
TEL(391)2035番　振替口座東京8962番
—御送金は振替口座を御利用下さい—
◇進物用、記念品には金文字を記入いたします
長嶋茂雄氏評　なつかしの「セントポール」が全く素晴しい。オルゴール特有の甘美なメロディーだ。それに思い出多き大学本館を実物そっくりに彫ってあるので母校への郷愛を大いに潤ったしてくれる。このオルゴールのあるところ学生時代の思い出は尽きない。立教の卒業記念にこれ以上の記念品はなかろう。私はこのオルゴールを座右に置いて楽しんでいる。（巨人軍選手・校友）

発売中
商法講義案
須之内品吉著
■四年用　商法【書籍部にて販売】
■三年用　手形法【新聞学会室にて販売】

最良の品質
安定せる販路
良き伝統
取締役社長　萩原吉太郎
北海道炭砿汽船株式会社
本店　東京都中央区日本橋室町2—1（三井三号館）
営業所　東京・仙台・新潟・伏木・名古屋・大阪・小樽
鉱業所　夕張・平和・幌内・空知



宗教の植民地化政策

東京クルセード論

平山照次

極端な宗教宣伝

問「日本国憲法は、政教分離の原則に立って、信教の自由を保障している。公共施設での宗教活動はできないたて前だ。体育館内では宗教行事六項目（祈り、決心、カウンセリング、献金、十字架のアーチ、極端な宗教説話）が禁止されているが知っているか。」

答「自分たちは使用許可を得ているから〝伝道〟をする。宗教行事をするために来日したのであってそれ以外何の目的もない。ビデスはサーモン（説教）をするのだ」

これは五月六日、ホテル・ニュ・ジャパンでの日本人牧師と、ポプ・ビデスおよび副総裁ウオードとの対話である。

いよいよ定刻がきた。反対ビラをまいている学生群がいる。東大YMの学生たちだ。入口の辺りには、クルセードのハッピを着たクレン隊風の男が数十人動いている。映画ロケや競馬場などの整理にやとわれる男たちだ。もちろんクリスチャンではない。中にはいると、左側の警官堡方面に沢山の警官が見える。五十人位もいるだろうか。何という物々しい光景か。これがキリスト教の集会なのか。聴衆は七分の入り。

開会の辞をのべる東田秋次氏は普通の話し方の姿勢のままで目をあけてお祈りをしたした。都の禁止六項目の第一はお祈りだった。禁を犯して祈る不自然さが目立つ。プログラムに、祈禱、説教、献金、決心者の招き、カウンセリング等の文字が全然無いのは、禁止を承知していた証拠である。

音楽の後、プロに「この働きのために」と書いた所で、小原十三司氏が祈り出した。奉仕員たちによって袋が廻された。献金も禁止項目だった。それを知らぬ奉仕員たちが献金感謝の祈りのために袋を持って前に出ようとして押し戻された。又音楽、次に聖書朗読、いよいよビデスのいわゆる「最高のメッセージ」が始まった。純然たるというより極端な宗教宣伝説教だ。これは最も強く禁じられていた事項だった。クルセード当局はビデスのメッセージは十五分で世界平和の呼びかけだと都側に言っていた。だからそれを信じて、都体育部長尾崎氏は「使用時間二時間のうち、一時間四十五分は音楽であります」と都議会で答弁した（議事録）ビデスは平然と無視した。十五分は五十五分となった。平和の呼びかけは極端な宗教宣伝となった。共産主義社会の攻撃もした。

「入信決心勧奨も禁止項目だったが、ビデスは謝絶に切り替え、それをやった。それも実にしつこかった。会衆を立たせて招きをやるが中々出る者がない。ポツポツ前に出て行くのは大抵胸にバッチのカウンセラーばかり。サクラの役で出た者だ。カウンセリングも禁止項目だったが、前に出た少しばかりの人口は姿座裏に連れて行かれて質疑応答の名目で、個人的入信相談（カウンセリング）を受けた。その数は予定二千人に対し百五、六十人もいたろうか。こうして禁止項目は殆んど皆モノの見事に破られた。都教育長や体育部長の四月廿一日都議会での言明なぞ、まるでシカにもかけられていなかった。都教育長は「六項目はプロにあるように殆ど音楽であり、そういう宗教的なものは絶対にいたさないという約束でできます。宗教自体のないようにさせます。宗教自体のないようにさせたい……」（議事録）と言明しているのに、ビデスらはそれを知っていながら平然と無視した。植民地民衆に対する総督の態度である。

館の玄関先では例の用心棒団員たちが、道を行く若い女性に向って、「よって行きなよ、ジャズが聞けるゼ……」と野卑な呼び込みをやっていた。そのガウンみたいなハッピに「クルセード」の文字がクッキリと浮んでいた……。

わたくしは、依頼紙数の半分に近い長文の、実況紹介をした。東京クリスチャン・クルセードの実体を諸君に知って貰うためには、事実を語ることが最も適外だと思ったからだ。

クリスチャン・クルセードの本質

東京クリスチャン・クルセードとは何か。クルセード（十字軍）の名の通り征服型伝道キャンペインのことだ。主催者はアメリカのカリフォルニヤ州パサデナにあるビジョン誕生。ワールド・ビジョンは一九五〇年朝鮮戦争リーダースタイジェスト記者の肩書きで、その実一九四三年大統領から海外巡回伝道の要請を受けて従軍した紛れもない派遣牧師ボプ・ビデスによって結成された一種の宣伝機関だ。この団体の知られざる使いをして一九五八年頃から対日工作を始めていた。起数派教授者大会という牧師会議の見丸がかえで開いて「共産主義撲滅をやった。翌五五年には大阪フェスティバル・ホールを使った東京路路の小手だもしだ。東京のように思想的社会科学的分析力の弱い牧師たちもいた。少数のためその声は消されて一応集会そのものは大数の意で彼らの期待通りに行った。しかし中味は選刊朝日の引用のうちに言葉にゴマかされていたようだったと、空虚感や、時には、反ソツを感じる」という高校生たちの告白が本当の所であろう。選刊朝日はインスタント・クリスチャンのマスプロだとさめつけた。（この言葉は東京クルセード以来、ハヤリ出した新語だ。）

一九六〇年賛美歌小酒園で全国の起数派教授者大会があった。その時NCC（日本基督教協議会）議長武藤健氏はビデスの前で東京クルセード招請状を読み上げた。（実は同年一月廿九日NCC常議員会では三十三名出席で「クルセードをウエルカムはするが、各派の同意を得ること」と決議し、「インバイト」する決議は出てきなかったので武藤氏の越権的独断として激しく非難されている）しかし日本キリスト教団も同意も参加も決議せず、各個の自由ということに突つ放ねてしまった。同意しなかった真因は結局ワールド・ビジョンの正体が不明だったからだ。調査の結果前記の結成事情の外にこの団体の支持層が、アメリカのマッカーシズム支持層と同質、ファンダメンタリストたちだという点、役人と役者は同じ意味のコトバになる。脚色は足の色になり、歯曲はおはけと音楽になる。こんな例も、あげたらキリがない。

どうしても漢字のセワにならなければならないのは、塩田さんもあげられた「梯形・提形・定型・踏形」のような同音語である。同音語も、ある程度は前後の関係でわかる。「朝から晩まで」と「眠いから寝る」の「から」は、だれも漢字を書き分けずに使い分けている。けれども、漢語には同音語が多すぎる。「梯形」と「踏形」などは前後の関係からも判断がつかないことが多かろう。ぜひとのコトバを使うとなると、漢字で書くよりほかない。が、そういうコトバは、漢字を使う使わないにかかわらず、なんとか処理する必要にせまられている。また、処理されつつある。それは、機械化の急速な進行からきている。

文字の実用面の第一線は「事務」である。事務は社会活動の神経にたとえられている。数年来の急速な生産性の向上とあいまって文字を書く仕事、文書を扱う仕事が、カタカナばかりの横書きという表記方式の、さまざまの、性能の高い機械でさばかれるように切りかえられつつある。ローマ字の使える機械もある。数字はもちろん使える。が、漢字は使えない。電子計算機、テレタイプ、単にペンの代わりに使うだけの道具も カナタイプライターに変わりつつあるという。だから、白痴化とか感ど、すべて「了」の部からだけ出してみて、字義どころか、漢字で書ける人がまれである。それなのに、これらのコトバが、りつぱに口に語られ耳に受けられ、新聞では使われている。というなく、これは何を物語るか。「自転車」というような、字義のわかつているコトバだって、じつは字義など実用上の役目をしていないことを証明している。というよりも、なまはんか字義が働いてはまるのである。字義にたると、自転車と自動車の区別がつかなくなる。これらの方面では、たとえば「梯形」は「ハシゴガタ」に「踏形」は「ヒツメガタ」というように、カナでわかる用語に、どしどし改められている。

ところが、こういう事実を、学問の反対論者は、それは実務の方面だけのことだ。文学とか、哲学とかの高級な文章とはワケがちがうとおっしゃる。西洋では作家も学者もタイプライターで仕事をしている。日本の先生がたは、永遠に自分で字を書くという原始的な方式を続けるおつもりであろうか。それも各人の自由である。

が、もうハッキリと、先が見えている。いや、すでに、カナタイプで仕事をしている作家や学者が、しだいに数を増してきている。ことに、アメリカや連に対する自動翻訳機の果たしている役目の重要さ、この機械は、日本でもそろそろ使い出したが、これにも漢字はしめたされている。

漢字は、いつまでも保存し保護すべきものである。それは、古典を将来の文化に役立てる意義を考えただけでも、当然すべきるほど当然のことである。史料は保存すべきである。が、日本全体が史料になっていては国が滅びる。必要な史料を保存しながら、しかも、できるだけ合理的な高速道路をドシドシ作っていくことである。そして、できるだけ合理的な交通道路を設け、それをみんなで守ることである。役人と役者は同じ意味のコトバになる。これらの方面では、たとえば「梯形」は「ハシゴガタ」に「踏形」は「ヒツメガタ」というように、カナでわかる用語に、どしどし改められている。

ところが、こういう事実を、学問の反対論者は、それは実務の方面だけのことだ。文学とか、哲学とかの高級な文章とはワケがちがうとおっしゃる。西洋では作家も学者もタイプライターで仕事をしている。日本の先生がたは、永遠に自分で字を書くという原始的な方式を続けるおつもりであろうか。それも各人の自由である。

が、もうハッキリと、先が見えている。いや、すでに、カナタイプで仕事をしている作家や学者が、しだいに数を増してきている。ことに、アメリカや連に対する自動翻訳機の果たしている役目の重要さ、この機械は、日本でもそろそろ使い出したが、これにも漢字はしめたされている。

漢字は、いつまでも保存し保護すべきものである。それは、古典を将来の文化に役立てる意義を考えただけでも、当然すべきるほど当然のことである。史料は保存すべきである。が、日本全体が史料になっていては国が滅びる。必要な史料を保存しながら、しかも、できるだけ合理的な高速道路をドシドシ作っていくことである。そして、できるだけ合理的な交通道路を設け、それをみんなで守ることである。

（カナモジカイ理事長）

日本の法秩序を無視

日本国新憲法の政教分離原則は神道と国家権力と切り離したのにそれを結びつけるバハイロソト役を演ずるクルセードが如何に怒るべきものか読者は知らなければならない。憲法十四条によって体育会のためなら宗教団体も都体育部使つてもいが、憲法二〇ノ三、同八九とより、宗教的活動のためには使つてはならないというのが政教分離の原則なのだ。日本ではその原則が掘けは信教の自由は奪われる。キリスト教の如きマイノリティーの宗教なぞ一とたまりもない。現公会が自然の時運慶式をやつて当局をあわてさせたことは有名だ。都の教育局が、宗教行事六項目を禁止し、宗教宣伝はさせないと都議会で答弁したのはこうした理由による。しかし、ビデスらは日本の法秩序を無視し都行政当局や都議会を愚弄して憤らない。ビデスらは「伝道してやつた」つもりでサツサと帰米すればよいだろうが、後に残された日本のキリスト教界は、「キリスト教は恐知らずだ」「表面の新聞発表や体育局長への誓約や議都会での教育長言明をうら切つてコソソリ禁止事項を犯すゴマカシ宗教だ」「国家神道とファシズムへのバイロットだ」「反共、宗教だ」「アメリカの犬だ」「貧しい大衆の敵だ」「戦争勢力の一派だ」「誓約書」〝都民の精神侮辱のため〟などと呼び軽中的意識の持主だ」等々の誤まった印象を国民に植付けられてその誤解を解くのに長い長い労苦を払わねばならないであろう。

宗教は植力と分離されなければ大変なことになる。第一日から雇物無神の社会体制を攻撃し、日本の法秩序をもうりんする東京クリスチャン・クルセードの同調者の結成事情の外にこの団体の支持層が、アメリカのマッカーシズム支持層と同質、ファンダメンタリストたちだという点、日本のNCCや教団の会議承認を得ずにやつた点、それに日本の法秩序を無視するという点

二、伝道方式の人間疎外性　音楽的ムードに酔わせるため信仰的快心に自覚的、人格的要素が欠ける点と、日ごろ関係者の多くの信仰がアナナチックな点

三、主催団体の反共的政治性　主催団体の役立事情やアメリカ三の支持層に右翼反共色が強い点と、日本受入側の中枢に旧、戦争指導者たちが多い点、東京クルセード開催決定が反共的雰囲気の中でなされた点

入りも決心者を世論の評判も悪いようだ早く中止した方がよかろう。

（筆者ひらやましょうじ氏は山手教会牧師）

マルタ

文字もコトバも社会共通のもの

漢字は史蹟として残せ

松坂忠則

新聞学会のO君がおいでになって、塩田良平さんへの反論を書けという。わたしは、ためらった。塩田さんは先日の国語審議会脱退五人組のおひとりなのだが、ほかの四人の委員とちがって、決してムチャなことはおっしゃらない人だった。脱退組に加われたのはフシギだと思っている。

O君から見せられたこの新聞（四月十五日号）の塩田さんの文を読んでも、もちろん、わたしと対立する意見のところもあるが、同感のところも少なくない。わたしは舟橋聖一さんなどには負ってかかっているが、しかし塩田さんに目を向ける。このように改善されたのは決して放置しておいてできたのではない。戦後の、当用漢字や当用漢字音訓表の効果なのである。もっとも、それが「効果」なのかどうかは、人によって見方がちがう。「河豚」を知っている人には「フグ」よりも「河豚」のほうがおもしろいかもしれない。が、わたしは、文字というものは、だれもが、わずかの勉強で、すべて「了」の部からだけ出してみて、字義どころか、漢字で書ける人がまれである。それなのに、これらのコトバが、りつぱに口に語られ耳に受けられ、新聞では使われている。というなく、これは何を物語るか。「自転車」というような、字義のわかつているコトバだって、じつは字義など実用上の役目をしていないことを証明している。というよりも、なまはんか字義が働いてはまるのである。字義にたると、自転車と自動車の区別がつかなくなる。これらの方面では、たとえば「梯形」は「ハシゴガタ」に「踏形」は「ヒツメガタ」というように、カナでわかる用語に、どしどし改められている。

ところが、こういう事実を、学問の反対論者は、それは実務の方面だけのことだ。文学とか、哲学とかの高級な文章とはワケがちがうとおっしゃる。西洋では作家も学者もタイプライターで仕事をしている。日本の先生がたは、永遠に自分で字を書くという原始的な方式を続けるおつもりであろうか。それも各人の自由である。

が、もうハッキリと、先が見えている。いや、すでに、カナタイプで仕事をしている作家や学者が、しだいに数を増してきている。ことに、アメリカや連に対する自動翻訳機の果たしている役目の重要さ、この機械は、日本でもそろそろ使い出したが、これにも漢字はしめたされている。

漢字は、いつまでも保存し保護すべきものである。それは、古典を将来の文化に役立てる意義を考えただけでも、当然すべきるほど当然のことである。史料は保存すべきである。が、日本全体が史料になっていては国が滅びる。必要な史料を保存しながら、しかも、できるだけ合理的な高速道路をドシドシ作っていくことである。そして、できるだけ合理的な交通道路を設け、それをみんなで守ることである。

以上でおわりのように、このクルセードの問題点は大体左の通り

一、日本側の主体性喪失性　それは提唱、企画、資金、推進、講師等皆アメリカ側だという点と、日本のNCCや教団の会議承認を得ずにやつた点、それに日本の法秩序を無視するという点

二、伝道方式の人間疎外性　音楽的ムードに酔わせるため信仰的快心に自覚的、人格的要素が欠ける点と、日ごろ関係者の多くの信仰がアナナチックな点

三、主催団体の反共的政治性　主催団体の役立事情やアメリカ三の支持層に右翼反共色が強い点と、日本受入側の中枢に旧、戦争指導者たちが多い点、東京クルセード開催決定が反共的雰囲気の中でなされた点

入りも決心者を世論の評判も悪いようだ早く中止した方がよかろう。

（筆者ひらやましょうじ氏は山手教会牧師）

お知らせ

ただいま新聞学会では新入会員の募集をおこなっています。入会希望者は書記部の当学会室まで御来会下さい。

国語・国字問題をめぐって（2）

本紙では前号より国語国字問題をあらゆる角度から検討していくことに決めた。その第一回として国語改革に反対の立場をとり審議会を脱会した塩田良平氏に書いてもらった。ひきつづき今回は国語審議会委員である松坂忠則氏にお願いした。（編集部）

一枚随想

疑い深い一本の杭

仲代達矢

現代を一億総白痴化時代だと言った人がある。あらゆる人が政治を批評する、野球を批評する、評論の人の言動を批評する…等々。異常なるマスコミの発達とレジャーブームがお国柄の島国根性に結び付いたのだとしても、しかし批評家精神それ自体が決して悪いものであろう。管はない。多くの人が正しく、きびしい批評眼を持つ事は理想的だからである。

ただしマスコミや世間の風評を丸呑みにして、それに「付和雷同する事」だと感違いする傾向もあることは、寒心すべき事実のようである。あらゆることが複雑化して定着した道徳も倫理もない今日、物事を先入観や外観だけで判断することは危険である。多数決の時代であるだけに、そうした判断による多数決の、雪崩のような暴力にまで思いをめぐらせると、「まず自分が疑い深い一本の杭であること」があらゆることに先行して必要なのだと今さらのように思い至る。

独裁を憎むその心で雪崩のような付和雷同を恐れなければならない。

正しい判断のための疑い深い眼が一本の杭として多数決の時代を守り、繁栄させるのだと考える。先入観や皮相だけの判断はすまい……疑い深く、疑い深く……このごろ僕はそんなことを考えている。

（筆者なかだいたつや氏は新劇俳優）

自動車責任教習
免許証取得
安くて早くとれる方法で
学生割引
車種　入会費　30分教習
普通車　100円　320円
軽四輪車　100円　250円
高田馬場 TEL (361) 3923
山手自動車教習所

一ダンス講習会一
立大生はもとより一般の方も進んで御入会下さい
・日時　14日(日)より毎日曜A.M.10.30～P.M.1.00
・場所　高田馬場(二又交番横入る)戸塚ダンス
・会費　入会金　100円　講習料　70円(1回分)
・受付　毎日曜　10時より当ダンス教室にて
立大社交舞踏研究会

御婚礼用　御贈答用
鰹節
にんべん
本店　中央区日本橋室町二
電話　日本橋(24)1019・5971・6590

目白ロゴス英学校
生徒募集中
開講日　7月7日
規則書　〒¥20
豊島区目白町1丁目1140番地
TEJ (971) 4001・1537

岩波書店刊
日本の地理
全8巻
新らしい地理の眼が日本をとらえた！
新栄堂書店　池袋東口都電終点前

和菓子・喫茶
三原堂
池袋西口
(971) 2070・8080

新築開店
御披露サービス！
支那麺 ¥30
焼飯 ¥50
焼餃子・包子・シウマイ ¥50
美味・廉価
大小宴会
中國料理
北京亭別館
シネマロサ前
TEL (982) 2213・3433・8200

総合化学工業会社として躍進する……
日本油脂
資本金 24億　従業員 4140人
本社　東京都千代田区丸ノ内2ノ3(東京ビル6階)
電話東京(201)代表2301・2401
支社・支店　大阪・札幌・名古屋・福岡
工場　王子・尼崎・川崎・三国・神明・武豊・茂呂
研究所　尼崎・川崎
石油化学製品、有機過酸化物、可塑剤、合成洗剤、石鹸、その他油脂製品、塗料、溶接棒
ステンレス溶接管、火薬、爆発加工
明日の日本油脂を背負う向上心ある積極的な人材を求めております
初任給　本年度新卒者 学士 17,610円　修士 20,000円以上　博士 23,000円以上(37年度は検討中)
ご希望により入社案内を差し上げます　日本油脂株式会社勤労部人事課

初夏のレジャーは豪華なムードのコマダンス会館へ!!
¥250均一　(ジュース付)
ジョーヤ増渕とコダマダンスオーケストラ他一流ゲストバンド連日競演
開場 平・日・日・祭日 5:00 5:00
コマダンス会館
新宿コマ劇場地階 TEL (368) 5400・014

豪華なステレオ・デラックス喫茶
立大生の御集会・御会合に
純喫茶 池袋茶房
熱帯魚、ギャラリー名画展、カラーテレビ
各ボックス電話付
池袋西口・エトワール劇場横
TEL (971) 7135—9